

地域資源の高付加価値化に関する研究

ーリンゴ剪定枝活性炭の基本物性ー

Study to add of value of local resources

-Basic Properties of Activated Carbon from Pruned Apple Branches-

廣瀬 孝・櫛引正剛

リンゴ剪定枝から空気賦活で調製した活性炭の細孔構造を明らかにし、それらの物性に関してスギを原料とした活性炭および市販の活性炭と比較検討することで、リンゴ剪定枝から空気賦活で調製した活性炭がどのような物性を有しているか評価した結果、以下のような知見を得た。リンゴ剪定枝から調製した活性炭は灰分が高く、4～20nm の範囲のメソ孔が他炭よりも多かった。これは活性炭を調製する際、リンゴ剪定枝に含まれる灰の触媒的な作用によるものと推察された。

